

会う食べる飲む

またまた 楽しからずや

第九十三回 志茂田景樹さんの巻

年を取って仕事の内容も
少し変わった
子どもたちや若い人に
言葉を届けること
それが今の僕の大切な仕事だ

しもだ・かげき/1940年3月25日生まれ。小説家、絵本作家、タレント。80年に「黄色い牙」で直木賞を受賞。現在は絵本の読み聞かせ活動に注力。近著に「自信をつくる。働くきみへ贈るカゲキの檄文」(KKベストセラーズ)



Shimoda Kageki

「ホルモン鍋」

牛の「大腸」と「ハチノス」を
トロトロになるまで煮込み
コチュジャンで味付けした名物鍋
冷えた体も、すぐに温まる



絵/市川興一

さつそくホルモン鍋とレンコンのチヂミを
注文し、韓国焼酎JINROのお湯割り乾
杯。友人は今年、念願のCDリリースを果た
した。「もう12月だけど、今年はいいい年にな
ったね」と話しているうちに、鍋が到着。い
い具合に脂を落としたモツはほろほろと柔ら
かく、コチュジャンの適度な辛さと甘みが利
いたスープもうまい。コラーゲンがたっぷり
で、美容にもよさそうだ。

鍋と会話で心身ともに温めて、22時には帰
宅。妻と、二人で行おこなっている絵本の読み聞か
せイベントについて少し話し、日付が変わる
前に床に就いた。

〇月×日

忘年会シーズンという
ことで、この日も社交
クラブで働く友人と落

〇月×日

5時半に起き、自分で
朝食を作る。新刊の追
い込みの時期なので、
うどんを茹でて簡単に済ませた。2年ほど前
からインターネットで若い人の悩みに答える
のがライフワークになっていて、新刊も働く
若者に語りかけるような内容だ。

午後は麻布十番の事務所、講演会の打ち
合わせ。その後、18時ごろに友人の女性シン
ガーと待ち合わせて、近所にある韓国家庭料
理の店『鳳仙花』に向かった。

一昨年くらいまで、健康のために玄米菜食
を中心にしてきたが、最近は力をつけるべく
動物性たんぱく質も摂るようにしている。そ
んななかでときおり食べたくなるのが、この
店のホルモン鍋だ。

ち合い、酒を飲むことに。行きつけの沖縄料理店「沖繩台所 しびらんか 麻布十番店」に足を運んだ。

お気に入りのメニューは、もずく天の串揚げ。もずくと言えば酢醬油で食べる人が多いが、揚げ物にするのとねっとりとした舌触りになり、磯の風味が際立つ。大好きな豆腐よりも注文し、お酒は久米島の泡盛・久米仙のお湯割りだ。お湯を多めにし、香りを楽しみながら、じっくりと味わう。

話すのは、なんてことのない内容。つまり、政治と宗教を除く話だ。「お互い、来年もいい年にしようね」と言いながら、3時間ほど大いに飲んだ。

○月×日

午前中からエッセイの執筆。今年の講演やイベントもあと少し、仕事納めまでラストスパートというところだ。

19時に六本木にあるカラオケダイニングバー「貳阡壹年」へ。僕を囲む交流会「牙の会」が開かれ、職業も年齢もバラバラの男女が18名ほど集まった。自由に歓談したり、ダンスを踊ったりして交流を温める。孤独を癒す「都会のオアシス」のような会だ。

遅くまで飲んでいると、どうしても炭水化物がほしくなる。この店でのお気に入りには、分厚いトーストに蜂蜜をたっぷりかけたハニートーストだ。僕が「城壁」と呼んでいる耳の部分が香ばしく、とてもおいしい。

二次会も六本木のカラ

また
楽しからずや



第九十三回

オケクラブへ。焼酎やウイスキーなど、合わせて10杯ほど飲んだが、これくらいなら翌日に残らない。日付が変わるまでいい気分であつて帰宅した。

○月×日

引き続きエッセイの執筆を行う。午後に行くつか雑誌取材を受け、この日は十数年来の友人である自営業の女性と飲むことに。向かったのは、田町にある秋田郷土料理の店「ハタハタ屋敷」。地元漁師の写真が飾っており、東の間、東京の喧騒を忘れさせてくれる。

さっそく名物のきりたんぼ鍋を注文。比内地鶏でとったコクのある出汁がきりたんぼに染みて、味わい深い。秋田の魚醬「しよつる」の原料になっているハタハタの塩焼きも、脂が乗っていて酒が進む。

○月×日

お互いの近況を話しながら、辛口の地酒「新政」や「太平山」を飲んだ。友人と酌み交わす酒は、翌日の英気につながるというものだ。ホテル日航成田でトクシヨ。原稿の締め切りでバタバタしており、出発の時間がギリギリになってしまったため、次男の車に送ってもらった。

大気は「カリスマタクシードライバー」と呼ばれていて、最近ではメディアに出る機会も増えており、車内で初の著書が増刷になり気合が入っていると聞いた。彼を呼び付けてホテルまで

今回紹介した店

鳳仙花

東京都港区麻布十番2-21-12
マンション麻布コート1F
最寄駅/麻布十番

沖繩台所

しびらんか

麻布十番店

東京都港区麻布十番1-8-11
TAKADEN麻布十番ビルB1
最寄駅/麻布十番

貳阡壹年

東京都港区六本木3-11-10
ココ六本木ビル7F
最寄駅/六本木

ハタハタ屋敷

東京都港区芝5-26-20
建築会館1F
最寄駅/田町

送らせるのは、なかなか贅沢なことかもしれない(笑)。

医療法人主催のイベントで、医師や看護師など百数十人を前に、僕がこんな格好をするようになった理由や、子どもたちへの絵本の読み聞かせをするようになった経緯などを話させていただいた。

トクシヨの後はお腹が空く。ホテルが出してくれた小エビのチャーハンが良い味で、次男もちやつかり飲み食いをしていた。

腹ごしらえのあとはサイン会。9月に出した「人って、みな最初は石ころだもの」(ポプラ社)や直木賞受賞作の「黄色い牙」にサインをしたが、よろこんでもらえてよかった。

翌日に船橋での講演会を控えていたので、そのままホテルに宿泊させていたことに。講演のテーマは「子どもたちに夢を伝えよう」だ。これまでの人生経験を役立てて、子どもや若者に心躍らすものや言葉を伝えていきたいと思う。